



やまなみ

山形市立大曾根小学校
学校だより
令和4年12月22日
校長
No.11 太田 千春

「勇気」を合言葉に 2学期が終了

12月22日(木)、令和4年度2学期の終業式を行いました。今学期は、「なりたい自分」に近付くための「勇気」を合言葉にして取り組んだ84日間でした。日々の学習をはじめ、様々な学校行事などをとおして、初めてのことに、ちょっと自信のないことに勇気をもって一歩踏み出し、できるよう



になっていく姿を、また、そうした仲間を励まし、いっしょになって喜ぶ姿をたくさん見ることができました。児童代表で2学期にがんばったことを発表した1年生児童は、「みんなとなかよしなじぶん」になりたいと考え、運動会や学習発表会でみんなと力を合わせることで、カラフル学年だけでなく、学校中のみんなと仲良くなれたことを振り返っていました。

明日から、18日間の年末年始休業に入ります。子供たちにとって、有意義な休みになることを願っております。地域、保護者の皆様には、この2学期間、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、本当にありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。

ビックリ座 パネルシアター

今年もビックリ座の皆様によりパネルシアターを上演していただきました。演目は新作の「ねことねずみ(十二支の話)」です。台本作りや作画、染色と全てが手作りです。何度も集まって作業や練習を繰り返し、当日に備えてくださいました。子供たちは、十二支の由来に興味をもって聞き入り、上演を楽しんでおりました。



読書祭り 大盛況!!

12月5日(月)から9日(金)までの5日間、BOOK&アナウンス委員会の企画により、「みんなだいすき 夢の木 笑顔の木 たんじょう きねん」として読書まつりが行われました。期間中、図書室で本を読んだり、本を借りたりした子供はスタンプをもらえます。図書室は大賑わいで、企画した子供たちも嬉しそうにしていました。



地域に伝わる文化の継承

11月20日の山形新聞「やましん週刊ヨモ一ニャぱーく」に、地域学校協働活動の一環として進めている本校のクラブ活動の取組が掲載されました。地域に伝わる太鼓と民話を子供たちが受け継いでいこうとするものです。活動を始めて2年目となりますが、異学年の友達とも力を合わせながら意欲的に活動しており、地域の伝統文化・芸能等を大切にしていこうとする子供たちをととても頼もしく思います。今後も活動を継続させ、本校の特色ある活動の一つとして根付いて行くことを期待しております。

クラブ活動の実施にあたっては、土屋徹子さん（和太鼓）、大宮洋子さん（地域民話）から御指導いただいております。また、学校運営協議会の委員の皆様からも全面的な御協力をいただき、とても心強く感じております。今後も、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行っていけるよう努めてまいります。

一生懸命に練習する大宮根太鼓クラブの児童たち
—山形市大宮根小—

太鼓を教えてくれた
土屋徹子さん

山形・大宮根小のしまん

地元の太鼓・民話 次代へ

住民が先生

山形市大宮根小太鼓活動の一環として、今年度から、千手院（大宮根）の太鼓師、大宮根太鼓クラブの先生に指導を受ける。子供たちは、地元の文化を継承し、地域を盛り立てていくという思いで取り組んでいる。大宮根太鼓クラブの先生は、太鼓の歴史や演奏の仕方などについて、詳しく教えてくれた。子供たちは、太鼓の音に魅了され、練習に励んでいる。大宮根太鼓クラブの先生は、太鼓の歴史や演奏の仕方などについて、詳しく教えてくれた。子供たちは、太鼓の音に魅了され、練習に励んでいる。

成果を披露

11月19日、同市上区では、子供たちが、太鼓の音に魅了され、練習に励んでいる。大宮根太鼓クラブの先生は、太鼓の歴史や演奏の仕方などについて、詳しく教えてくれた。子供たちは、太鼓の音に魅了され、練習に励んでいる。

今週の見どころ

2 こんにちワーク	3 ソウソウアート@山美	4 5 放課後ニュース	〒990-8550 山形市放電町2-5-12 電話 023(622)5271(総合案内) ©山形新聞社2022
6 みんなで検定	7 英語NEWS	8 続・山形のとんと首	

山形新聞 11月20日 写真提供/山形新聞社

赤い羽根共同募金

11月24日（木）と25日（金）の両日、障がいをもつ人や高齢者の役に立ちたいと、ドリームスクール委員会からの呼びかけで「赤い羽根」共同募金運動が展開されました。募金額は、8,384円となり、過日、山形市社会福祉協議会へ児童代表から手渡されました。趣旨を御理解いただき、御協力くださいました保護者の皆様に、心より御礼申し上げます。



いじめに関する保護者アンケート

11月、全校児童及び保護者を対象に、今年度2回目となるいじめに関するアンケート調査を行いました。記載内容について、訴えがあった子供から担当が丁寧に話を聞いて事実確認を行った結果、新たに2件を「いじめ」として認知し、行為を行った子供に指導を行いました。

本校では、今年度の経営の重点の一つに「いのちの教育」の推進を掲げています。学校として育成を目指している「互いのよさを認め合い、自他を大切にしようとする」態度が育ちつつありますが、対人交流能力の素地が十分に養われていない面も見られます。今後も、一人一人の生活の様子や変化等についての丁寧な把握、適切な指導を心掛けてまいります。御家庭や地域でのお子さんの様子で何かお気づきのことがございましたら、いつでも学校に連絡をくださるようお願いいたします。

